

## 令和2年度那須町水道事業会計予算

小野曜子議員

独立採算の立場での値上げであり、施設老朽化への際限ない値上げ路線に道を開きかねないので、反対。

平山輝貴議員

水道施設の延命化を着実に実行し、企業債の償還も計画通り予算化されていることから、中長期ビジョンにのっとった事業経営を推進するものであり、賛成。

ここから

議員案での討論です。

### 議案第12号 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定及び人口ビジョンの改定についてに対する付帯決議

高久一伸議員

子どもの貧困対策については、議会で十分な議論がされていない。付帯決議は議決の重みがあることから、議会の統一的な意思を明確に示すべきであり、反対。

竹原亜生議員

総合戦略は全員の賛成で承認したが、付帯決議により議会の声を執行部に届け、よりよい総合戦略とすべきである。もの言う議会こそ、このような付帯決議をすることが重要となってくるので、賛成。

### 那須町で行われる選挙に関する投票時間の繰り上げを求める決議

小野曜子議員

自治会からの要望は2月に届いたばかりで、審議が不十分といえる。投票時間の繰り上げは、選挙参加条件の後退の懸念があり、反対。

井上豊議員

投票時間が短縮されても、期日前投票があり投票の機会が確保されている。選挙当日の事務従事者の勤務時間の短縮や選挙費用の節減にもなり、賛成。

### 気候非常事態宣言に関する請願（不採択との報告に対して）

高橋輝議員

2050年までに再生可能エネルギーの利用率を100%とし、CO2の排出量を実質ゼロにすることは必須といえるので、不採択に反対。

竹原亜生議員

「他自治体の模範となる」「再生可能エネルギー自給率100%を目指す」など、宣言内容に妥当性が欠けるため、不採択に賛成。



#### 付帯決議とは

可決された案件に対し、事業を執行する上での要望や留意事項を述べるために提出されるものです。

#### 今回の付帯決議の解説

「議案第12号 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定及び人口ビジョンの改定について」全員賛成で“可決”

しかし議員側からの要望（SDGsの誰一人取り残さない社会の実現を踏まえ、貧困状態に置かれている子どもが健やかに育つことが出来るよう貧困の連鎖を断ち切るしくみの構築等、総合的な支援を求めるもの）を組み込んで欲しいと数名の議員より付帯決議が提出され、それについて上記の討論がありました。

結果はP7の賛否状況とおり、付帯決議は“否決”となりました。